

第171号
2025.12
(令和7年)

ひこね市議会だより

わた**SHIGA**輝く国スポ・障スポ
を開催しました！



令和7年7月臨時会 (7月16日)
令和7年9月定例会 (9月1日～10月21日)

- 7月臨時会の結果…………… 2
- 9月定例会で決まったこと… 2～7, 20～21
- 代表質問・個人質問…………… 8～19
- 特別委員会レポート…………… 22
- お知らせ…………… 23～24

インターネット中継は 彦根市議会 検索

7月臨時会の結果・9月定例会の結果

7月臨時会の結果

不同意

その他の議案 1 件

表題の採決方法について、無記名投票と記名投票それぞれ要求があったことから、まず無記名投票か否かの採決をはかったところ、賛成13名、反対10名となり、賛成多数で無記名投票となりました。

その後、表題の採決が無記名投票で行われ、結果は以下の表のとおりとなりました。

7月臨時会 議案の審議結果

会期：7月16日(水)

■賛否が分かれた案件

項目	番号	件名	結果	中川睦子	角井英明	八橋龍二	堀口達也	中野正剛	上杉正敏	北川元氣	辻真理子	森野克彦	和田一繁	矢吹安子	小川吉則	黒澤茂樹	正田菜穂子	伊藤容子	奥野嘉己	安澤勝	野村博雄	森田克充	戸崎和子	馬場任男	長崎利幸	林隆史
議案	55	彦根市副市長の選任につき同意を求めることについて	不同意																							
				無記名投票 賛成10：反対12 (議長は投票権なし、安澤 勝議員は欠席)																						

このような討論がありました

賛成

県要職や大学運営で実績を積み、農業協同組合経営管理委員会の副会長として持続可能な農業にも尽力している。
農家の高齢化や価格保障の不十分さ、農業用水路の更新など課題は多いが、氏の能力と熱意で市農政を進めることが期待できるため、賛成。

県で要職を歴任し、財務・総務に精通、教育長経験も有する稀有な人材である。
巨大組織である本市を安全に運営するには、市長を補佐し、相談役・管理者として判断できる副市長が不可欠であり、豊富な行政経験を持つ同氏の選任は極めて有効であるとして、賛成。

本市は深刻な財政危機に直面しているが、副市長の報酬について、報酬削減の意向すら確認できていない。
人選の効果や財政健全化への貢献は不透明で、市民や議会との対話も欠如している。
庁内士気やDX対応にも不安があり、説明不足の中での人事は時期尚早であるため、反対。

反対

9月定例会の結果

原案のとおり
可決・同意・認定・適当

予算関係 5 件
条例関係 12 件
委員会議案 1 件

決算関係 4 件
その他の議案 7 件
諮問 2 件

否決

修正案 1 件

9月定例会 議案の審議結果

会期：9月1日(月)～10月21日(火)

■全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名	項目	番号	件名
議案	59	令和7年度(2025年度)彦根市病院事業会計補正予算(第1号)	議案	73	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて
	61	彦根市副市長の給与の特例に関する条例案		74	令和6年度(2024年度)彦根市病院事業会計の決算につき認定を求めることについて
	63	彦根市功労者表彰条例の一部を改正する条例案		75	令和6年度(2024年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	64	彦根市議会議員および彦根市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案		76	令和6年度(2024年度)彦根市下水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	65	彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案		78	彦根市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
	66	彦根市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例案		79～81	彦根市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
	69	彦根市下水道条例の一部を改正する条例案		82	彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	71	彦根市水道事業給水条例の一部を改正する条例案	諮問	1～2	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて



■ 賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 —：議長)

項目	番号	件名	結果	中川 睦子	角井 英明	八橋 龍二	堀口 達也	中野 正剛	上杉 正敏	北川 元気	辻 真理子	森野 克彦	和田 一繁	矢吹 安子	小川 吉則	黒澤 茂樹	正田菜穂子	伊藤 容子	奥野 嘉己	安澤 勝	野村 博雄	森田 充	戸崎 克司	馬場 和子	長崎 任男	林 利幸	小川 隆史
議案	56	令和7年度(2025年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57	令和7年度(2025年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58	令和7年度(2025年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60	令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62	彦根市工場立地法準則条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	67	彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	68	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	70	彦根市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	72	彦根市荒神山自然の家の設置および管理に関する条例を廃止する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	77	彦根市副市長の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	●	●	○	○	●	●	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	83	令和6年度(2024年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会議案	3	彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	退席	退席	退席	退席	退席	退席	○	○	○	○	○	
修正案		彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案に対する修正案	否決	○	○	●	●	●	●	●	●	—	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	13	損害賠償の額の決定について
	14	令和6年度(2024年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	15	第37期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	16	第22期株式会社四番町スクエアの決算状況について
	17~21	市の債権の放棄について
	22	令和6年度(2024年度)主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	23	令和6年度(2024年度)彦根市の健全化判断比率等について

9月定例会に提出された議案等の詳細についてはこちらから



議案一覧・議決結果

このような討論がありました

議案第77号 彦根市副市長の選任につき同意を求めることについて **賛成**

副市長候補者は職員が安心して働ける環境づくりに必要な人材であり、市長答弁からも職員を守る条例制定への明確な方針と誠意が示された。職員と議会の関係を明確にし、職員が安心して働ける仕組みとして、条例制定が急がれる。副市長を中心に職員を守る条例の制定を可及的速やかに進めることを申し添えて賛成。

7月臨時会での提案時は、説明不足により判断材料がなく反対したが、今回は候補者の経歴や県政での実績、自身の給与削減を職員給与へは反映しないこと、職員を守る条例への前向きな姿勢が確認できた。市長の公約達成と組織パフォーマンス向上という両輪を、副市長が先頭に立って回すことが期待できるため賛成。

彦根市政は財政難や施設維持の課題など巨大な壁に直面しており、市長1人では対応が困難である。副市長は元県教育長として即戦力であり、県との調整や新年度予算編成、学校統合など重要課題を円滑に進めることが期待される。市長と副市長が両輪となり緊密に連携することが市政前進に不可欠であるため賛成。



9 月 定 例 会 の 結 果

議案第77号 彦根市副市長の選任につき同意を求めることについて

反対

副市長候補者の青木氏は、豊富な行政経験と高い専門性を備えた立派な人物である。しかし、公共施設廃止や市功労者表彰式縮小などで市民や職員の元気や励みが失われつつある今こそ、厳しい財政の中、夢とやる気を持てる施策が必要であり、受け身だけではなく攻めの姿勢で、難局を乗り切る情熱を持った候補者が現れると信じて反対。

副市長候補者の経歴を否定するものではないが、7月臨時会での否決から2か月での再提案には十分な理由が示されており、給与設定や条例制定も不透明で、市長の説明責任が果たされていない。職員を守る体制づくりは市長の責務であり、副市長任せにすべきではなく、まずは条例制定に向けた姿勢を示すべきであるため反対。

議案第62号 彦根市工場立地法準則条例案

反対

議案第68号 彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

議案第72号 彦根市荒神山自然の家の設置および管理に関する条例を廃止する条例案

議案第62号は地球温暖化が進む中で緑地面積率を引下げる内容であり、市の地球温暖化対策や緑の基本計画に反する。企業誘致の名目での緑地削減は、二酸化炭素吸収という企業の社会的責任を軽視するものでもあり反対。議案第68号は病床削減により感染症や災害時の医療体制がぜい弱となり、地域住民の命を守る責務を果たせず、議案第72号は荒神山自然の家が子どもの自然体験や成長に不可欠であり、廃止すると教育的意義を損なうため反対。

議案第56号 令和7年度（2025年度）彦根市一般会計補正予算（第3号）

反対

議案第57号 令和7年度（2025年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第58号 令和7年度（2025年度）彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）

議案第60号 令和7年度（2025年度）彦根市下水道事業会計補正予算（第1号）

議案第67号 彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案

議案第70号 彦根市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例案

議案第56号について、特定在留カードやマイナンバーカード整備に伴う経費は、プライバシー侵害や人権問題の懸念が解消されずに行政負担を増加させ、俳遊館解体費は市民との協議不足で有効活用が図られておらず反対。議案第57号・58号は公費をもって拡充すべきで、制度そのものに問題があり反対。議案第60号は議案第70号の条例制定に伴うシステム改修費であり、議案第67号・70号は使用料等の引き上げで市民負担が増大するため反対。

議案第83号 令和6年度（2024年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて

反対

子育て世代の生活苦が増す中、不用額の多さは住民福祉を軽視した財政運営であり、過度な稼く自治体志向や金持ち優遇のふるさと納税制度依存は公共性を損ねている。地域経済対策リフォーム事業の拡充こそ福祉と経済の両輪となる施策であり、現方針には賛同できず反対。

議案第83号 令和6年度（2024年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて

賛成

令和6年度決算は、前市長のもと財政健全化を最優先に進め、公共施設の適正配置や不要不急の事業を見直した。民間活用やふるさと納税により自主財源を確保し、子育て・教育施策も着実に実施。限られた財源の中で効率的な行政運営を行った点を高く評価し賛成。

委員会議案第3号 彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案

反対

修正案 彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案に対する修正案

賛成

委員会議案第3号については職員を守るための改正条例案である点は評価する。しかし、前市長と職員への刑事告訴が不起訴となった以上、根本的な再発防止には議員の政治倫理を厳格に適用することが不可欠であり、職員との良好な関係構築を加えるだけでは不十分である。そのため本案には反対。一方で、市長等との健全な緊張関係を保持する規定とすることが適切であるため、修正案には賛成。

修正案 彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案に対する修正案

反対

修正案は、職員との信頼関係回復を曖昧にし、過去の反省や再発防止の意思を覆い隠す内容である。議会が自ら責任を認め、職員を対等に尊重する原案こそ信頼関係回復の第一歩であり、市民に示すべき姿勢でもある。理念を後退させる修正案には賛同できないため反対。

一般会計補正予算の主な事業

文化施設適正管理事業

121,132千円

ひこね市文化プラザの屋根および中央監視装置を改修するため、必要となる経費を補正するもので、寄附金、諸収入および市債をもって賄うものです。



	所要額	既決予算額	補正額
修繕料	121,132千円	- 0	= 121,132千円

「映画のまち・彦根」推進事業

9,500千円



彦根映画祭を開催するに当たり、クラウドファンディング等で受けた資金を彦根映画祭実行委員会へ負担金として支出するため、必要となる経費を補正するもので、全額寄附金をもって賄うものです。

・彦根映画祭実行委員会負担金

	所要額	既決予算額	補正額
	9,500千円	- 0	= 9,500千円



特別職給与費

△315千円

副市長の給与等を5%削減するため、その経費を補正するものです。

給与月額 770,000円 → 731,500円 (△38,500円)

期末手当 1,570,800円 → 1,492,260円 (△78,540円)

<積算内容>

	所要額	現計額	補正額
給料	18,444千円	- 18,675千円	= △231千円
職員手当等	35,502千円	- 35,581千円	= △79千円
共済組合費	4,609千円	- 4,614千円	= △5千円
計			△315千円

予算常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、9月16日(火)に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第56号、議案第57号、議案第58号、議案第59号、議案第60号

【主な質疑】

○議案第56号に対して

- Q 俳遊館解体工事の完了予定と今後の活用は。
- A 解体は年度内に完了、今後は、町内での活用などのご相談はお伺いするが、原則は売却と考えており、土地の売却代金で解体費が賄えればと考える。なお、建物を別の場所への移築やひき家をして保存するなどの相談についてもお伺いする姿勢でいる。
- Q クラウドファンディング等で調達する彦根映画祭実行委員会負担金950万円の内、職員の人件費の額は。
- A 実行委員会事務局を本市エンタテインメント課フィルムコミッション室で担い、通常の業務範囲内で実施する。

○議案第59号に対して

- Q 病床管理業務支援システム導入により期待する効果は。またその調達の方法は。
- A 入退院情報をリアルタイムで共有することで、職員の業務負担が軽減されることを期待。調達の方法は公募型プロポーザルの予定。

【主な討論】

○議案第56号、議案第57号、議案第58号、議案第60号に対して

- 反対 マイナンバーカードと在留カードを一体化する特定在留カードは、プライバシー侵害の懸念がある。国保・後期高齢者医療について、新たに創設される制度が市民負担が増えることから納得できず、下水道のシステム改修費も利用料値上げに関わるもので市民負担が増えることとなるため、反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、9月17日(水)に委員会を開催し、議案3件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第61号、議案第63号、議案第66号

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



福祉病院教育常任委員会

彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案等 2 件を可決

福祉病院教育常任委員会は、9月18日(木)に委員会を開催し、議案 2 件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第68号、議案第72号

【主な質疑】

- 議案第68号に対して
 - Q 新興感染症への対応はできるのか。
 - A 引き続き維持される休床部分の一部を活用することにより十分対応可能と考える。
 - Q 救急患者の入院への対応は大丈夫か。
 - A 受入れに懸念が生じる恐れはないと考える。
- 議案第72号に対して
 - Q 施設の収支状況、今後の民間活用の検討、備品の活用は。
 - A 令和 6 年度で4,400万円ほどの赤字だった。備品の有効活用は検討し、施設については様々な角度から総合的な政策判断になると考える。

Q 施設設置場所の危険性は。

A 土砂災害特別警戒区域が近くにあり、土砂災害警戒区域も施設の半分程にかかっている状況である。

【主な討論】

- 議案第68号に対して
 - 反対 新興感染症等に対し湖東圏域住民の命が守れないと考え反対。
- 議案第72号に対して
 - 反対 本施設の持つ意味は大きく、近隣市町に代替施設があるとの理由で廃止すべきでなく、このような施設を維持することこそ品格ある本市にふさわしいと考え反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、9月19日(金)に委員会を開催し、6 件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第62号、議案第67号、議案第69号、議案第70号、議案第71号、議案第73号

【主な質疑】

- 議案第62号に対して
 - Q 条例制定のニーズがあったのか。
 - A 本市への進出を検討する企業や不動産会社からの問い合わせが何件もあった。
 - Q 条例改正による効果は。
 - A 緑地面積率の緩和により他自治体と条件が同様となり、企業として進出しやすくなると考えている。
- 議案第67号に対して
 - Q し尿処理に関する手数料算出の根拠は。
 - A 手数料で賄うには9 倍の値上げが必要になるが、市の使用料手数料の見直しに関する基準に基づき、激変緩和措置として、現行料金の1.5倍を上限とした。

○議案第70号に対して

Q 料金改定の周知方法は。

A 広報ひこね11月 1 日号で特集ページを掲載するとともに本市ホームページで情報提供を行う。

【主な討論】

- 議案第62号に対して
 - 反対 地球温暖化防止の観点から緑地面積率の緩和は逆効果になり反対。
- 議案第67号に対して
 - 反対 物価高で苦しい生活を余儀なくされている方もあり行政としての配慮がなく反対。
- 議案第70号に対して
 - 反対 一般家庭の負担はもう少し配慮が必要で反対。

【結果】

- ・各議案はいずれも原案のとおり可決

親政クラブ

質問者

長崎 任男議員



Q

令和8年度予算編成において大胆な事業見直しを行う予定はあるか

A

令和7年度当初予算編成と同等かそれ以上の見直しは避けられない

Q これまで彦根の財政を立て直すため大胆な事業見直しが行われてきた。田島市長においても大胆な事業見直しを行う予定なのか、また稼ぐための秘策があれば是非予算編成に反映していただきたいかがか。

A 現在の財政状況を鑑みると、令和7年度当初予算編成と同等かそれ以上の事業見直しは避けられない。市税やふるさと納税といった自主財源の確保策をさらに進めていくことで予算編成に必要な一般財源を確保したい。

Q

小学校の空き教室が増加する中で今後の学校統合に関する考え方は

A

保護者、学校、地域住民の意見を取り入れながら慎重に進める

Q 公的施設の整理統合を伴う検討は地域にとって大きな問題であり、受け入れがたい内容を含むこともあることから、なかなか合意に至らないことが多いと考える。懇切丁寧な説明を行い彦根市の今後の財政健全化の立場を理解してもらいながら進めなければならないと思うが、少子化が進む現状にあり、小学校の空き教室が増加する中で今後の学校統合に関する考え方は。

A 新たな時代に求められる教育活動を充実させるため、児童生徒にとって望ましい教育環境を整備することに重点を置き、総合的に検討する。検討に当たっては、児童生徒の保護者、将来の保護者の考えを尊重し、学校、地域住民の方々の意見を取り入れながら、慎重に進める。



▲空き教室が増加する小学校



その他の質問

- ・ (仮称)図書館中部館整備事業の現在の状況について
- ・ 彦根市観光振興計画について
- ・ 彦根市立病院経営強化プラン（2024～2027）1年目の総括について

公 政 会

質問者

伊藤 容子議員



Q

トンネルコンポストの長期の事業性にリスクはないのか

A

トンネルコンポストは大きなリスクがあり、進める場合は販売先の拡大が必須である

Q トンネルコンポストの事業者が2社程度で競争原理は働くのか。

A 彦根愛知犬上広域行政組合（以下「組合」という。）によると、一定の競争原理は働くと考えますが一般的に十分に働くとは言いがたい。

Q 製造したフラフの受入事業者数がわずか1社であり、事業継続性に大きなリスクがあるのでは。

A 組合によると、大きなリスクであり、トンネルコンポストで進める場合は販売先の拡大が必須である。

Q 候補地探しを一から始めること自体、現施設を念頭に置くと市民生活に多大なる危険があるのでは。

A 候補地の選定や各種測量、環境調査等が必要で、大幅な時間を要するリスクが想定される。老朽化している現施設の現状を考えると、新施設の供用開始まで保守・修繕で安定的使用に対応するが時期が遅れるほど財政負担が増加する。現施設の突発的な故障による焼却停止などのリスクが年々高まり、市民生活に大小の影響が出る可能性があると考ええる。



▲稼働して48年経過し補修・修繕を繰り返すごみ処理施設内部

Q

吉田学園との専門職大学設置の基本合意および協定の解除の理由は

A

外部環境が大きく変化し協定の事業継続が困難であり解除

Q 協定の解除の理由は。

A 近年の建設費の高騰や学生募集環境の変化、専門職大学設置の国の認可基準の厳格化など、外部環境が大きく変化し協定の事業継続が困難であり双方合意の上解除した。令和6年夏時点で、当初想定した学部を設置が難しく、また定員の経営面の影響等を想定する必要があると説明を受けていた。

Q 令和7年2月定例会で当時の副市長から「吉田学園は議員の発言を非常に重く受け止め、彦根への進出についても再考する状況だ」と発言があった。公政会は吉田学園に書面を送り、「議員の議会での発言が原因で合意を解除したわけでない。」と回答があった。議場で事実と異なる発言がなぜされたのか、また記録など根拠は何か。

A 前市長が令和6年10月に理事長と面談した際にそういう発言があった、とのことで市に記録などは残っておらず、前市長の発言した内容を前副市長が議場で発言した。



▲専門職大学の校舎建設予定地であった駅東町の市有地



その他の質問

- ・財政運営について
- ・防災について

創 風 会

質問者

北川 元気議員



Q

職員が市議から刑事告訴された件で、職員を守る条例を見送った理由は

A

既に整備済みの規則で対応可能という市長の判断で見送った

Q「職員を守る条例」は、規則で十分であるとして提案を見送られたが、規則は市長の判断で改廃できる内部ルールであり、職員にとって安心の担保とはならない。6月定例会以降の検討の経緯は。

A 人事部の3名と協議し、市長の判断で条例化を見送った。

Q 議会と執行部、市長と職員の間不信をどう回復し、信頼関係を再構築するのか。

A 信頼関係は双方の協力により築かれるべきで、誠実に行動を重ね、良好な関係構築に努めたい。



Q

副市長人事について
前回からの変化は

A

前回具体的な経歴や役割への期待を十分に説明できず反省している

Q 否決された7月臨時会からわずか2か月という短期間で再提案されたことに市民から疑問の声が寄せられている。よほどの理由と根拠が必要であるが、前回からの変化は。

A 前回具体的な経歴や役割への期待を十分に説明できず反省している。

Q デジタル政策の担い手としての適格性は。

A 県のデジタル対応の所管については事実誤認があったが、マネジメント力を発揮してもらいたい。

Q 県の財政課長時代、平成20年度決算において単年度赤字を計上し、積立金32億円を取り崩し、最終的に27億円の赤字となったことに対する見解は。

A 当時、リーマンショックにより県税収入が落ち込んだという背景があり、それを乗り越えられた経験がある。単年度の数字で一個人の手腕を評価すべきでない。



その他の質問

- ・「祝 彦根市長！田島一成を祝う会」について
- ・新ゴミ処理施設問題について
- ・彦根城世界遺産登録について

夢みらい

質問者

小川 吉則議員



Q

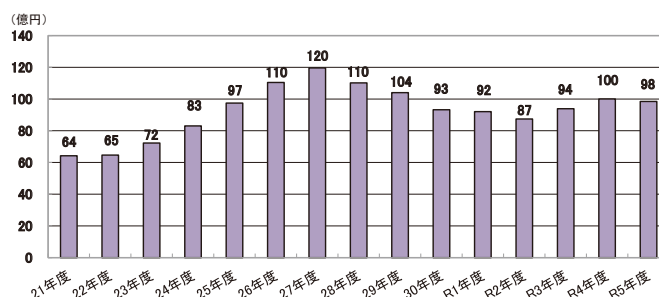
令和8年度予算編成に対して市長はどのような方針を出すのか

A

引き続き「財政の健全化」を第一に、一件査定方式による再点検を行う

Q 令和7年度予算編成では、一件査定方式でひとつひとつの施策を慎重に厳しく精査されたが、市長の令和8年度予算編成方針や編成方式はどのようなものか。また、財政調整基金残高はほぼゼロとなっており、その他の基金についても非常に厳しい基金残高となっている。具体的に財源をどのように確保し、基金を積み上げていくのか。

A 令和8年度の予算編成については、引き続き「財政の健全化」を第一に、一件査定方式による再点検を行う。具体的にどのような財源を確保し、基金を積み上げるのかについて、基金の財源は基本的には剰余金となることから、歳入確保と歳出削減が必要となる。厳しい財政状況から現在は基金積立が困難だが、将来のため少しでも基金の積立てができるよう努める。



▲彦根市の基金残高の推移

Q

世界遺産登録に向け県との連携登録申請スケジュールはどう考えているか

A

来年度改めて国内推薦を勝ち取り、令和10年に世界遺産登録を目指す

Q 世界遺産登録に向け今後、県との連携登録申請スケジュールや、登録に向けて求められる保存・管理計画は改めてどう考えているか。また、市民への説明会や情報発信の頻度・方法を改善し、市全体で一丸となって世界遺産登録に向けた取組も必要と思うが、どのように考えるか。観光客増加を見据えた交通、駐車場、公共交通機関の整備計画は怎么样了ののか。

A 来年度に改めて国内推薦を勝ち取り、令和10年に世界遺産登録を目指すこととなる。彦根城の保存管理については、大きな問題はないと理解している。この一年を大切な機運醸成の機会と捉え、市全体で彦根城の世界遺産登録を成し遂げる機運を更に高めたいと考えている。国内推薦が決まれば、組織体制の強化も含めた具体的な対策を実施していきたいと考えている。



▲世界遺産登録を目指す彦根城



その他の質問

- ・ 公共施設等の維持管理について
- ・ 本市の環境問題における将来展望について

市政について
質す!

9月定例会個人質問

15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、
事前申し込みによる
手話通訳を
実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について



▲彦根市議会
インターネット
映像配信はこちら

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。

(<https://hikone-city.stream.jfit.co.jp/>)

彦根市YouTube チャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市YouTube
チャンネルは
こちら

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



八橋 龍二議員



おさつ街道の横断歩道設置は可能か



基準に満たないが、新たに事故が発生したため、警察署に協議を申し入れる



その他の質問

- ・国スポ・障スポ大会時の円滑な運営とバリアフリー対応について
- ・大会レガシーを生かしたまちづくりについて

Q 横断歩道設置基準の内容は。

A 警察庁の「交通規制基準」に基づき歩行者数や滞留スペースの有無

などを考慮し、彦根警察署が設置可否を判断される。ご指摘の箇所は近接箇所に既設の横断歩道があるため「市街地においてはおおむね100メートル以上、非市街地においてはおおむね200メートル以上とする」との基準を満たしていないと判断されたもの。

Q 基準の柔軟な運用は可能か。

A 設置基準では通学・通園児、高齢者、身体障害者等の横断する場所は設置間隔を短縮できるとも規定されており、新たに子どもに関わる事故が発生しているため、この緩和基準が適用できないか彦根警察署に改めて協議の申し入れを行う。



▲おさつ街道



堀口 達也議員

Q 稲枝東幼稚園の閉園に伴う入園の緩和措置や対応は

A 特別利用保育制度で保育園入園を緩和し、保護者に寄り添った対応を行う



Q 稲枝東幼稚園の閉園に伴う入園の緩和措置や対応は。

A 地域に幼稚園がない場合、特別利用保育制度で保育園入園を緩和する。転園を希望する世帯にはできる限り希望に沿って調整し、3歳児から入園を希望する園児には稲枝地域の保育所での特別利用や希望する幼稚園・こども園での受入れを支援し保護者に寄り添った対応を行う。

Q 学校の再編・統廃合の判断基準や方針は。

A 小中学校適正規模・適正配置基本方針では、児童生徒数が2024年の8,852人から2030年には7,117人へ約20%減少が見込まれる。判断基準は、小学校では望ましい規模である12～18学級を下回る、今後10年で1学年20人以下となる学校を対象とし、まず複式学級が見込まれる稲枝北・亀山・鳥居本を中心に取り組む。再編・統廃合等の検討を進める際には保護者や学校関係者、地域住民と地域協議会を設置し十分な議論と合意形成を図りながら進める。



▲閉園になる稲枝東幼稚園



奥野 嘉己議員

Q マイナンバーカードの更新遅延について

A さらに市民サービス改善を目指し、今後の体制整備に取り組む



その他の質問

- ・救急搬送の現状について
- ・地域防災活動へのジェンダー視点導入の意義について

Q 6月定例会時点で1.5か月程度まで改善できていた交付日数がなぜ伸びたのか。

A 人員退職が重なり、交代要員の習熟度が上がらなかったためであり、現在は事務作業工程の見直し等により効率を上げ、改善に向け取り組んでいる。

Q オンライン資格確認に関する掲示を各クリニックに貼り出すことは可能か。

A 厚生労働省より、医療機関、薬局等にリーフレットが配布されており、掲示されていると認識している。

Q カードの受取場所の案内や、場所の拡充は可能か。

A 現在の受取場所は、市役所本庁舎と福祉センター内の証明書発行コーナー、稲枝支所だが、比較的空いている福祉センターでの受取の案内をするとともに、今後、支所での受取の拡充に関し調整を進めている。





黒澤 茂樹議員



学校体育館の空調設備導入は



必要性は十分認識しており、設置に向けた検討は進めていきたい



その他の質問

- ・上下水道や道路等の都市基盤施設の更新や整備、長寿化について
- ・学校施設の適正化(統廃合等)の取組について

Q 学校体育館の暑さによる教育上の影響はないのか。

A 暑さは年々厳しくなり、学習内容や活動場所の変更など、計画に基づいた教育活動の実施ができないなどの支障を来すものと懸念している。

Q 部活動等で利用の多い中学校体育館からでも、年次計画を立て空調設備を設置していくべきではないのか。

A 近年の体育館の暑さは児童生徒等の命に関わる課題であると認識している。児童生徒等の屋内外における運動を伴う教育活動に多大な影響が出ていることを考慮すると、教育の充実を図る意味で、体育館空調設備設置の必要性はあると考えている。ただしほかに老朽化した学校施設の改修等差し迫った課題もあり財政状況等を考慮すると難しいところであるが、設置に向けた検討は進めていきたい。

	小学校	中学校		小学校	中学校
彦根市	×	×	米原市	△	△
大津市	○	○	東近江市	△	○
草津市	○	○	近江八幡市	△	△
湖南市	○	○	日野町	×	×
甲賀市	×	○	竜王町	△	△
栗東市	×	△	多賀町	×	×
守山市	×	△	甲良町	×	×
野洲市	△	△	豊郷町	△	△
高島市	△	△	愛荘町	△	△
長浜市	×	×			

○：全部又は一部整備済み △：今後整備予定 ×：整備予定無し

▲県内の学校体育館空調設備設置状況（令和7年9月時点）



戸崎 克司議員



ふるさと納税におけるプロモーションは



ひこにゃんやSNSの活用を図っている



その他の質問

- ・彦根城博物館リニューアルオープンの影響・評判は
- ・公共施設の収益化としてネーミングライツ導入の効果は

Q ふるさと納税の返礼品として、ひこにゃんグッズの効果は。

A ひこにゃんは唯一無二の本市のキャラクターであり、寄附額以上のシティプロモーション効果があると考えている。

Q YouTubeチャンネルをはじめとしたSNSの有効活用は。

A 彦根市YouTubeチャンネルにて「彦根のええもん!!」として、本市返礼品の紹介動画を公開したり、産業部公式Instagram「ひこねのええもん」を開設し、ふるさと納税の返礼品や事業者を紹介している。

Q 企業版ふるさと納税の成果は。

A 累計5千万円以上、延べ30社以上の企業から寄附をいただいており、財源確保とともに企業との連携強化にも一定の成果をあげている。



▲ふるさと納税の返礼品「スキレット：ひこにゃんタイプ」



中野 正剛議員

Q 広報ひこねを総ルビ対応してはどうか

A 現時点では総ルビの導入は難しい



その他の質問

- ・期日前投票について
- ・不登校やひきこもり傾向のある児童生徒を映画鑑賞に招待しては

Q 彦根市での今後の外国人の増加予想は。

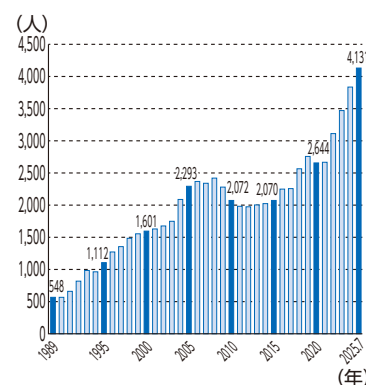
A 製造業やサービス業など、人手不足が顕著な分野での需要は高まっている。また、高等教育機関に在籍する留学生も多く、今後も彦根市における外国人住民の増加傾向は続く予想する。

Q 外国人にとって漢字は難しいのではないのか。

A 漢字は形が複雑であることや、音読み訓読みの使い分けなど、様々な要因から取得は困難であるとされている。

Q 広報ひこねにルビを振ってはどうか。

A 広報誌において漢字にルビを振ることは、漢字は読めないけれども、ひらがなであれば読める方に、記事の内容を理解していただきやすくなるメリットはあるが、一方でルビを振ることにより、限られた紙面の中で掲載できる情報量が減ってしまうというデメリットが考えられるので、現時点では総ルビの導入は難しい。



▲彦根市在住外国人数の推移



正田 菜穂子議員

Q 市内の投票所における熱中症対策はどのように行っているか

A 対策は講じており、投票所の変更も含めて環境改善に取り組みたい



その他の質問

- ・投票率向上の取組について
- ・高松市・水戸市・佐野市・鹿児島市との交流について

Q 直近の参議院議員選挙では、空調設備のない投票所において、投票所を変更してほしいとの要望はなかったか。

A 要望はあったが準備の都合上変更は難しく、スポットクーラー、扇風機、冷却材等に対応した。

Q 実際に暑熱により体調不良などを訴える方はおられなかったのか。

A 投票事務にかかわった職員のうち、軽度の熱中症の疑いや体調不良を訴えたものがあるとの報告があった。

Q 投票所の変更はできないのか。

A 投票所については、投票所へのアクセスが容易であること、駐車場や十分な空間が確保できること、バリアフリー対応が可能なことなど、安心・安全かつ円滑な投票のために満たすべき条件があり、これらの条件を満たす施設で空調設備が整った施設への変更も含めてしっかりと対応を検討していきたいと考えている。



▲好評だった投票済証



野村 博雄議員

Q 副市長の給料等を5%減額する理由や削減額は

A 副市長候補者が行財政改革への姿勢を示すもので削減額は3百万円強



その他の質問

- ・会計年度任用職員の待遇について
- ・児童生徒の学びやSNS等との関わりについて
- ・職員間のハラスメント対応について

Q 副市長の給料等を5%減額する理由は。

A 副市長候補者自らが行財政改革への強い姿勢を示すという趣旨で判断し、副市長給与が市長を上回る逆転現象を避けることや職責に対する適正な水準等を考慮し削減幅を5%とした。

Q 減額しない場合の、任期4年間の支給額は。

A 給料は36,960,000円、期末手当は12,566,400円、退職手当は11,088,000円、合計で60,614,400円となる。

Q 5%減額した場合の、任期4年間の支給額と、削減額は。

A 給料は35,112,000円、期末手当は11,938,080円、退職手当は10,533,600円、合計で57,583,680円で、削減額は3,030,720円となる。



中川 睦子議員

Q 男女共同参画センター「ウィズ」を残すべきでは

A 厳しい財政状況で、施設を継続することは困難



その他の質問

- ・荒神山自然の家の閉鎖について
- ・指定管理者制度について
- ・賃金スライド制度導入について

Q 「ウィズ」の果たしてきた役割は。

A 各種講座や研修会、相談事業を通じ、男女共同参画社会の実現、啓発に取り組み、地域や市民活動の拠点として重要な役割を果たしてきた。

Q 市民の声で継続の意見が多ければ残せるか。

A 来年度以降の施設運営の経費捻出は難しく、残すことは困難。施設の維持管理に要した経費の一部を事業経費に充て、男女共同参画事業を拡充し実施する。

Q 閉鎖後の施設はどのように管理していくのか。

A 建物や敷地の草刈りなど維持管理は企画課女性活躍推進室の職員で対応予定。

Q 「ウィズ」を残すべきでは。

A 現施設を継続するのは困難だが、活動している各団体には代替施設を案内し、活動継続の支援を行う。



▲男女共同参画センター「ウィズ」



馬場 和子議員



市長と副市長の職務分掌が必要と考えるが見解は



状況や課題に応じて役割を柔軟に分担する

Q 議案第77号の彦根市副市長の選任につき同意を求めることについて、多岐多様な彦根市の施策の末端まで目を届かせ、血の通う市政推進のためにも、市長・副市長間での職務分掌が必要と考えるが見解は。

A 副市長には市政全般を見渡し市長を補佐しながら、施策の総合調整を担ってもらう。そのうえで状況や課題に応じて役割を柔軟に分担し施策を着実に推進したい。職員が安心して働ける環境づくりの体制整備や条例化も含めた検討課題に滋賀県のコンプライアンス推進監としての経験を生かし先頭に立って取り組んでいただきたい。職員が刑事告訴などの事態に対応できるよう職員を守るための条例制定の検討を進めるよう副市長に指示していく。



その他の質問

- ・市長公約である「対話」をどう進め、市政へと反映するのか
- ・彦根城の世界遺産登録の国内推薦見送りと今後の方向性は



▲市役所4階の人事に関する窓口



角井 英明議員



彦根ニュータウンの街路樹が枯れている原因は



病害虫の被害で葉が変色し衰弱している

Q モミジバフウが枯れていた原因は。

A 本来、熱帯・亜熱帯地域に分布している病害虫が、今年の高温と降雨の少ない状況で発生したと考えられる。

Q 去年はなく、今年の異常な高温で、熱帯・亜熱帯地域に生息する害虫により枯れたということか。

A 葉が枯れるというよりは落葉した状況で、他所でも同じことがあり、全体的な気候変動によるものと判断している。

Q 春に強せん定がされ、街路樹の勢いがなくなり、害虫が付き枯れたと考えられるのか。

A 害虫がいつ、どのようについたかの判断は難しい。葉の裏側についた状況が見受けられ、葉が育った後についたと推測される。

Q 地球沸騰化は今後も進む。どういう対策を考えているか。

A 害虫はモミジバフウについていて、害虫を駆除する薬剤散布を考えている。



その他の質問

- ・稲枝地域での学校規模・学校配置計画について
- ・地球沸騰化が及ぼす農業への影響について



▲害虫によって落葉したモミジバフウ



小川 隆史議員

Q フリースクールにおける子どもの居場所以外の事業の活用は

A 積極的に連携を図っていく



その他の質問

- ・聖泉大学における新学部開設について

Q フリースクールてだのふあでは、子どもの居場所以外の事業を実施しているが、市は把握しているか。

A 学習支援、体験活動、保護者に対する相談支援や子どもの家庭を幅広く支える、独自の活動に取り組んでおられ、福祉的アプローチとして積極的な取組をされていると認識している。

Q 不登校問題解決に向けて、教育的アプローチに加え、福祉的アプローチの必要性と実施に向けての考えは。

A てだのふあの取組も、福祉的アプローチの要素がたくさんあり、効果的に取り組まれていると認識しており、児童福祉の視点で市が支援している世帯と共通する世帯が増えれば、積極的に連携を図っていききたい。



▲NPO法人フリースクールてだのふあ



森田 充議員

Q 「職員を守る条例」について市長から副市長候補者に話をしたのか

A 副市長候補者にも概要は伝えている



その他の質問

- ・令和7年人事院勧告を準用するのか
- ・持続可能な交通ネットワーク構築の目指すべき姿と抱える課題は

Q 市長から副市長候補者にはどのような話をされたのか。

A 副市長候補者にも概要を伝え、選任された際には、認識を共有しながら職員が安心して職務を遂行できる環境づくりを進めていくとともに、条例制定を視野に入れたより望ましい制度のあり方について、副市長を中心に検討を進めてほしいと私（市長）から伝えた。

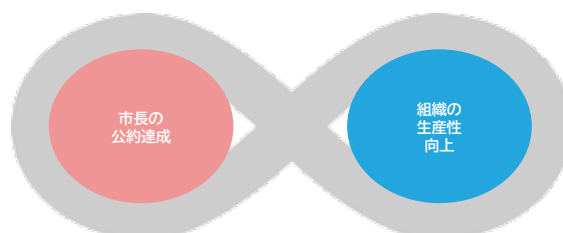
Q その時の副市長候補者の反応は。

A 前向きに話を聞かせていただきますとの返事もらった。

Q 副市長候補者には「職員を守る条例」制定に向けて指示されるのか。

A 規則で十分という考えを改めて、副市長候補者には条例制定に向けての検討を図るよう指示したいと考えている。

副市長の役割は両輪



トップダウンでの「市長の公約達成」と
ボトムアップでの「組織のパフォーマンス向上」を
両輪で回すのが副市長の仕事と考えられる



上杉 正敏議員

**Q 平和堂H A T Oスタジアムの
照明設備整備の早期実現は**

**A レイラック滋賀F CがJリーグ昇格への
期待感から、可能性は高まりつつある**



Q 平和堂H A T Oスタジアム改修整備の状況は。

A 平和堂H A T Oスタジアムの照明設備は、照度がJリーグスタジアム基準を満たしていない状況にある。この点については滋賀県も十分認識されており、平和堂H A T Oスタジアムを所管している県のスポーツ課と協議するとともに、昨年度および今年度は重点要望事項として位置付け、県に対して要望を行ってきた。改修整備の実現性は今年度の国スポ・障スポ、さらに来年度のインターハイの開催も控えていることから、財源の確保や改修時期の調整といった課題もあるが、現在レイラック滋賀F CがJ F Lにおいて単独首位に立つなど、Jリーグ昇格への期待感が一層高まっていることから、可能性は高まりつつあると認識している。



▲国スポ・障スポの主会場となった平和堂HATOスタジアム



安澤 勝議員

Q 近年の火災発生状況は

**A 令和6年が36件、本年は8月31日
現在28件発生している**



その他の質問

- ・消防団員活動時等の補償は
- ・分団活動費増額の見通しは
- ・消防職団員の健康管理について

Q 近年の火災発生状況は。

A 令和5年が35件、令和6年は36件、本年は8月31日現在28件発生しており、建物火災は18件発生している。

Q 主な原因は。

A 過去5年の出火原因は1位こんろ、2位たき火、3位たばことなっている。近年は電気が起因する火災が増加傾向にある。

Q 火災を発生させないための注意点は。

A 寝たばこは絶対しない、ガスこんろ等のそばを離れる時は必ず火を消す、たこ足配線はしない、家の周りに燃えやすい物を置かない、などに注意すること。近年はリチウムイオン電池を使用する電気機器からの火災も発生しており、高温となる場所に放置しない。衝撃を与えない。バッテリーを取り換える際は純正品に取り換えるなど、取扱いに注意が必要となる。



▲火災イメージ

決算特別委員会 令和6年度の各会計決算を認定

議案第74号、議案第75号、議案第76号および議案第83号の審査のため決算特別委員会を設置し、10月14日（火）、10月15日（水）、10月16日（木）に委員会を開催しました。

委員長：小川 吉則

副委員長：堀口 達也

委員：森田 充 安澤 勝 辻 真理子 森野 克彦 長崎 任男 中野 正剛 黒澤 茂樹
角井 英明

委員会からの主な質疑の内容

企画総務消防常任委員会が所管する事項

【全体】 経常収支比率、義務的経費や投資的経費などについて。

【歳入】 法人市民税が令和5年度比で34.5%の大幅な増額となった理由。市民税、固定資産税、都市計画税ともに、予算額が決算額よりも低く見積もられており、その差について。

【歳出】 映画のまち彦根に関連すること、企業版ふるさと納税のPR、男女共同参画センターウィズの利用実績、多文化共生推進の成果、湖東定住自立圏推進事業の成果、移住推進事業の審査基準、働き方業務改革推進の成果、職員採用状況、プロシードアリーナHIKONEの運営、自主防災組織設置促進の成果などについて。

市民産業建設常任委員会が所管する事項

【歳入】 ふるさと納税寄附金額の増加理由。

【歳出】 福祉医療費助成事業の予算と決算の差、彦根城世界遺産登録推進協議会負担金の内容、有害鳥獣駆除委託料の内容と実績、住宅リフォーム等助成金の内訳と経済的効果、リサイクル推進事業奨励金と協力金との違い、バーチャルコンテンツ活用推進事業の実績と効果、観光推進事業調査等委託料の内容、経営体育成基盤整備事業の内容と進捗率、ごみ焼却場長寿命化改修工事の内容と効果、地方バス路線維持運行費補助金の予算と決算の差、愛のりタクシーの実績、空き家等対策事業の成果と実績などについて。

国民健康保険事業特別会計では、特定健康診査等事業費の予算と決算の差、保険給付費等交付金の内容などについて。

下水道事業会計では、水道事業会計負担金の予算と決算の差、給水原価の上昇理由などについて。

福祉病院教育常任委員会が所管する事項

【歳出】 災害時避難行動要支援者制度の対象者と登録者の差異、進学準備給付金の実績、保育人材確保事業の成果、子育て世帯訪問支援事業の効果、使用済みおむつ園内処理事業の実績、生活保護費等給付事業の実績、高齢者虐待防止ネットワーク事業の内容と成果、保健事業と介護予防の一体化事業の内訳、24時間対応型利用制度支援事業委託料の予算と決算の差、ふれあいの館閉館の影響、地域福祉人材確保・育成事業の予算と決算の差と成果、自殺対策強化事業の効果、障害者福祉センター運営事業の内訳、母子健康診査事業の内訳、ひとり親家庭自立支援事業の予算と決算の差、学校支援・いじめ対策事業の成果、コミュニティ・スクール推進事業の成果、アクティブラーニング教室整備の効果、放課後児童クラブ運営事業の予算と決算の差、定住自立圏図書館サービス事業の内容などについて。

休日急病診療所事業特別会計では、予算と決算の大幅な差について。

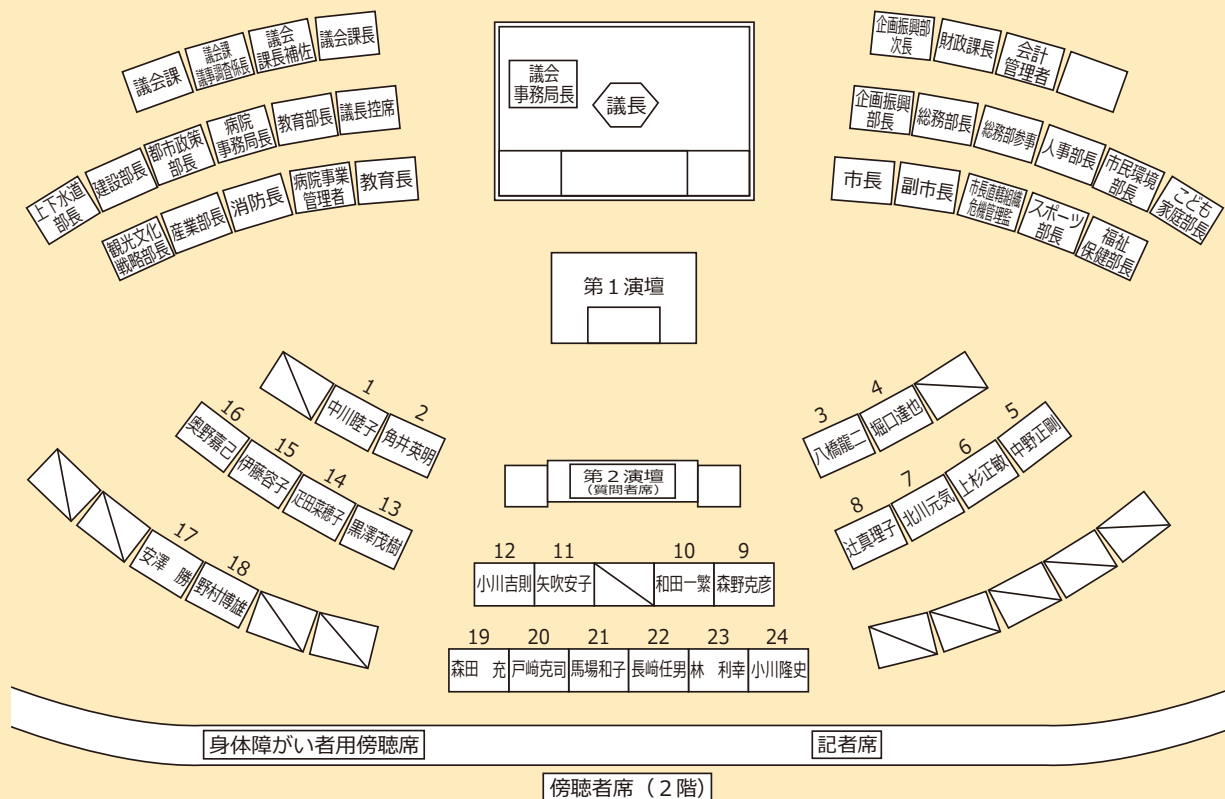
病院事業会計では、事業費用が事業収益を上回った理由などについて。

【反対】 ①こども家庭部所管の給食費徴収金の未済件数が一昨年から増加している一方で、多くの不用額が生じている。不用額を将来のための予算としたいとしているが、子育て世帯の暮らしには依然として困難が存在している。②自治体は住民福祉のための機関だが、国の支援が不十分で「稼ぐ自治体」が求められている。達成率5%のバーチャルコンテンツ活用推進事業廃止は、その過度な方針の弊害を示している。③ふるさと納税は稼ぐ自治体の柱だが、富裕層優遇や経費の多さなど問題が多く、公共財政の本来の姿から逸脱しており、ふるさとを壊しかねない制度である。以上の3点から反対。

【賛成】 令和6年度一般会計決算は、歳入約548億9,450万円、歳出約523億7,676万円で、差引25億1,773万円となった。厳しい財政状況の中、不要不急の事業の見直しや市の資産活用による自主財源確保が進められ、ふるさと納税や市民税収入も増加した。一方で、民生費や公債費の増加、施設維持費などの課題も存在した。ふれあいの館の閉館や公共施設の統廃合など苦渋の判断も行われたが、福祉教育施策の充実や民間活用による収益基盤の強化、職員の働き方改革も進められた。限られた財源の中で成果を上げた行政運営は高く評価できるため賛成。

議案はいずれも原案のとおり認定

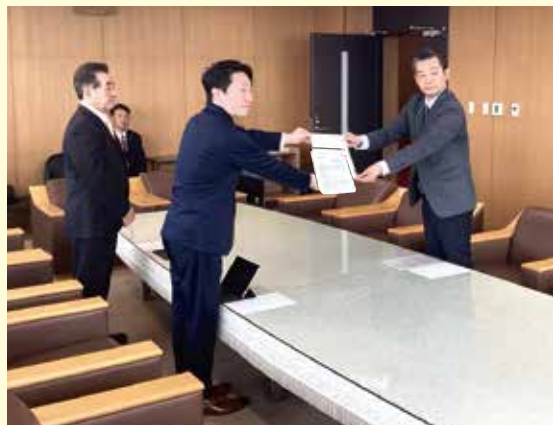
令和7年10月以降の議場レイアウト



議会改革特別委員会

令和7年6月20日(金)と7月16日(水)に議会改革特別委員会を開催し、議員定数と議員報酬について、協議・検討しました

昨年度、「彦根市議会議員の議員定数および議員報酬のあり方に関する調査会」が4回開催され、慎重に議論を重ねられた結果、4月11日に座長から、「財政的な観点を含め、適正規模への調整を検討することが望ましく、削減は2名程度までとすることが望ましい。」「一般議員の議員報酬は月額42万円程度に引き上げることが望ましい。」とする答申書が提出されました。



▲手交式の様子

この答申書を踏まえ、令和7年6月20日(金)・7月16日(水)に議会改革特別委員会を開催し、議員定数と報酬について、議論を行いました。

令和7年6月20日の委員会では、委員に答申書を示し、まずは屈託ない意見を出し合う場としました。定数については、人口減少や財政難を踏まえ、削減に賛同する意見がある一方、市民の多様な意見を反映するには現状維持が望ましいとする意見があり、報酬については、若年層や働き世代の参画を促すため引き上げを支持する意見や、物価高や市財政への配慮から現状維持を主張する意見がありました。

協議の結果、①調査会の答申どおりとするべき ②現状維持にするべき ③定数は下げてもいいが報酬は上げるべきではない、の3案に絞られ、最終的な方針を決定するため、同年7月16日に再度、議会改革特別委員会を開催しました。

上記3つの意見とこれまでの調査会や委員会の資料を再確認のもと、協議・検討したところ、7名中4名の委員から「①調査会の答申どおりとするべき」との意見が出たため、本委員会の方針として「調査会の答申どおりとするべき」について採決を行った結果、賛成多数で調査会の答申どおりとするべきものに決定しました。

今後の予定

今後、報酬については特別職報酬等審議会において議論されることから、これまでの議会や調査会での議論の内容を添えて、議会から市長に対し、報酬審への諮問を要請しました。また、議員定数については何名削減するのかについて、議論を深めてまいります。

市民産業建設常任委員が 彦根市清掃センターを視察しました！

令和7年7月30日(水)、市内施設の現状把握と課題認識を深めることを目的に、市民産業建設常任委員が彦根市清掃センターを視察しました。今後、議論を進めてまいります。



▲視察の様子

彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会

日時：令和7年10月24日(金) 14時30分～16時

場所：ひこね市文化プラザ メッセホール

議員の政策形成・政策提案能力の向上を目的として、愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町、甲良町、多賀町の議員の皆さんとともに研修会に参加しました。

近年、地方自治体を取り巻く社会経済情勢の変化や、住民ニーズの多様化・複雑化に対応するためには、議員一人ひとりが課題を的確に捉え、根拠に基づいた政策提案を行っていくことが求められています。本議長会では、コロナ禍以降、政策形成の考え方や地域課題・地域資源の発見手法、さらには議会のDX化の必要性などをテーマにした研修を継続して行ってきました。

今回は、(一社)地方公共団体政策支援機構上席研究員 渡辺太樹氏を講師に迎え、「データ活用に基づく政策立案や施策改善」をテーマにご講義いただきました。データに基づき根拠ある判断と提案を行うEBPM (Evidence Based Policy Making) の考え方に触れながら、地方議会が限られたリソースの中でどのように効果的な施策提案や見直しを行うべきか、また議員が身に付けるべき視点や手法について学びました。



▲研修の様子

彦根市防災訓練に参加しました！

災害時において関係機関が連携し、迅速・的確に対応できる防災体制を確立するため、8月30日(土)に彦根市防災訓練が実施されました。

本市議会も訓練機関として、参集訓練を実施しました。



▲防災訓練の様子

議会広聴の日を開催します！

彦根市議会

議会
広聴

の日

『議会広聴の日』は、普段市民の皆さまが考えている市政へのご意見について、市議会議員と気軽にお話しただける「意見交換の場」です。

日時：令和8年1月8日(木) 10:00から14:00まで

場所：彦根市役所 1階市民ホール

当日、随時受付させていただきますので、お気軽にお越しください。

ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会課(本庁舎5階)で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。

次の定例会は12月です

12月定例会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
12月 1日 (月)	開 会	9 : 30
12月 8日 (月)	個人質問	
12月 9日 (火)		
12月10日 (水)		
12月12日 (金)	予 算 常 任 委 員 会	
12月15日 (月)	福祉病院教育常任委員会	
12月16日 (火)	市民産業建設常任委員会	
12月17日 (水)	企画総務消防常任委員会	
12月22日 (月)	閉 会	